

幸せを探しているあなたに 未来を知りたければ正確に握らなければなりません



この時期になると いつも聞こえてくるニュースがあります。もう少ししたらある大学入学試験を目前にした受験生の自殺のニュース、年間 600 万人の参拝客が海拔 850 メートルのパルコン山にある岩に上がり 3000 拜をして、子どもたちの大学合格を祈るというニュース、子どもたちの大学合格と試験のためにお守りを購入しようとお守りを売る所が大変にぎわっているというニュースなど...韓国青少年相談院の調べで、韓国内の青少年 10 人中 6 人が自殺を一度以上考えてみたという衝撃を与えています。見過ごすことができない事実は、高 3 受験生の立場では、もう大学だけ進学すれば解放だと思っているのですが、実状はその後にさらに多くの困難が待っているということです。2009 年に発表された OECD(経済協力開発機構)統計の年譜を見れば、韓国の自殺率は 1 位、出生率は 1.13 人で最下位、自営業比重は世界 1 位、塾などにかかる費用負担 1 位、30 年後には韓国の 65 才以上高齢人口比重が日本の次に高くなるという展望が出てきました。大学民国と呼ばれるほど、臨界値を越えた大学進学率(2008 年, 83.5%)は 50-60%台であるアメリカ、日本を軽く越えています。職業学校を出たドイツ、日本の若者たちが世界を駆け回る職人として高められているころ、韓国の若者たちは、図書館で公務員試験に取り組んでいるのが現実です。中小企業や単純な働き口で修士・博士が追い込まれる現象は、単純に働き口不足でだけ片付けられることではありません。いったい「10 億ウォンを得ることができるならば罪でも犯す」とは 10 代の子どもたちが考えることなのでしょうか。はたして私たちの未来はどのようにすれば良いのでしょうか。

聖書には 未来に対する正解がすでに現されています。地球上に起きることがすべて預言されています。教会が乱れることと、自然界に現れる問題と、あちこちに飢饉、地震、戦争が起きることが語られています。テモテへの手紙第二 3 章には、苦しみと災いの原因と解決策まで記録されています。人に現れる事も預言されています。偶像崇拜で苦しみに会うこと、精神的苦しみの理由などが記録されており、死後の問題までも記録されています。そして、個人と時期(時代)に合う解答が聖書にあります。それで、聖書を知れば幸いな人生を歩むことができます。それなら、人生の問題は、具体的にどういうことであり、その苦しみから出るにはどうすればよいのでしょうか。神様はを離れた創世記 3 章の事件以後、すべての人間は、悪魔の勢力の下にいるようになりました。自然に偶像崇拜、いろいろな迷信と宗教を持つようになったのですが精神病、心の病気で苦しむようになり始めました。結局、家庭、生活、経済、肉体問題によって、元に戻せない失敗に陥るようになったのです。生きている間に悪魔に仕えていたので、死後は当然に悪魔の国である地獄に行くようになります。そして、その霊的問題が子孫にそのまま相続されるのです。

神様は、人間を呪いの中で置いておかれず、はじめから解決策をくださいました。メシヤ(イエス・キリスト)を通じて呪いに勝つように恵みをくださいました。イエス・キリストを信じて受け入れる時、罪と死の原理(運命、運勢)から解放されて、神様の子どもになる祝福を味わうようになります。神様の子どもが、サタン、悪霊に勝てるように、聖霊でともにおられます。聖霊で満たされれば、大きい力も生まれ、世の中に勝つ力もくださいます。そして、特別な祝福もくださいました。祈ればサタンの勢力が崩れ、天の門が開かれ手、御使いに助けられるようになります。この世に生きているのですが、天国の市民なので、天の保護と祝福、導きを受けるようになります。そして、世界を生かす伝道とイエス・キリストの弟子として福音をあかす証人の生活を味わうことができます。これを知って祈れば、未来は確実に祝福となります。これがあなたに向かった神様の約束です。

賢いくちびるが より貴重な宝です



重職者は現場宣教師「金があり、多くの真珠があっても、知識のくちびるが宝の器」(箴言 20:15)チップ・ヒースとダン・ヒースが書いた「スティック(Stick)!(邦題: アイデアの力)」という本を見ると、1秒後にびったり浸透するメッセージの6つの原則について話しています。「最初にメッセージは単純(Simplicity)でありながらも、奥深くなければならぬ。二つ目、意外性(Unexpectedness)がありながら、常識で人々の予想を破る結論を打ち出せ。三つ目、複雑でない具体性(Concreteness)を持って行動できるイメージが残るようにしなさい。四つ目、信頼性(Credibility)を持たせて、自ら体験できる機会を持たせなさい。五つ目、感性(Emotion)、感動を与えなければならぬ。六つ目、人生のいろいろな話を通して行動を起こせるストーリー(Story)を与えなさい。これが私たちの脳裏にびったり浸透するメッセージの6大原則だ」と言いました。ここに原則一つをより加えると、スマイル(Smile)、人を笑わせるべきです。牧師が講壇宣教師ならば、重職者は現場宣教師です。重職者が講壇で受けたメッセージが現場の弟子の心に伝えられる時、これがメッセージ成功(SUCCESS)の原則だと言えます。

重職者の答えと挑戦 重職者はいつでも一つだけ記憶すれば良いのです。私が行く所に神の国、福音の光が臨み、その中にはいつでも弟子が備えられているという事実を知るべきです。この弟子を探してローマ 16章、1コリント 16章、コロサイ 4章の人々のように、地域を生かすのが重職者の祝福で、アイデンティティーです。それで本当に伝道が何なのか、私は弱くても、どのように伝道をするのか悩み始めなければなりません。そして、礼拝をささげる時ごとに「今日、神様が講壇に立つ主のしもべを通して私に成就する神様のみことばを与えてください!」と祈りながら、このメッセージを握って、少しだけ個人的に考えれば良いのです。私がしなければならぬことが何かをチェックすることも重要です(出 3:16、ヨシュア 3:1-3、使徒 6:7)。このために、重職者は講壇メッセージ握って深く黙想しながら祈りに挑戦しなければなりません。霊的な力があってこそ、祈りの中ですべての答えを見つけ出すことができます。祈るとき、主の聖霊が働いて、主の御使いが私たちを助けてくれ、暗やみの勢力は離れるようになります。重職者の小さい働きが、結局、永遠な働きで残るようになるのです。あなたは、神様が立てられた地域を生かす霊的な司令官なのです。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもへの五つの確信

- 1 **救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16、Iヨハネ 5:10-13)
- 2 **祈り答えの確信**：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 **導きの確信**：神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27、箴言 3:5-6)
- 4 **赦しの確信**：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 **勝利の確信**：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます

神様の子どもへの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンを権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。



あわれみ深い 神様に

貧困は罪ではありません。しかし... 貧困のために落胆したり、急いだり、怠けてはいけません。貧困はときには、多くの犯罪を作り出す理由になります。貧困は創世記3章の事件以後に生じたことなので、犯罪行為ではないのですが原罪以後に起きた怖い実です。初代教会は、貧困と困難の中でもいくつかの戦略を持って多くの人を生かして、世界を生かしました。初代教会は、散らされた弟子が行く所ごとに教会を形成して、現場で伝道だけではなく、ワンネス(Oneness)になって、経済も生かしながら、伝道者を全面的に助けました。それで世界福音化することに一生投資する戦略を使いました。個人経済にもユダヤ人の成人式を越える貯蓄計画、献金計画、特別管理計画を教えながら、次世代に専門性を備えるように指導しました。そして、ローマ16章のエリート戦略で一步前に進んで世界を見通しました。私たちはこれを根拠として、全地域に地教会を立てて、本教会を後援して、ここに産業宣教がともにしながら OMC (Oneness Mission Club) 戦略を持って他の人を助けるのです。また、明らかな未来戦略で RUTC(レムナント共同体訓練場)を通して、次世代の専門性とインターンシップの土台を構築して、人材を集め、人材を開発して、知識経済を通して産業開発と経済の土台を用意していくのです。

私たちはなくした祝福を見つけなければなりません。初代教会時代にユダヤ人は福音、この一つをなくして失敗の道を行くしかありませんでした。そうするうちに、重職者が実際に味わうべき祝福、教役者の祝福までも、のがしてしまいました。福音を持った者の産業も現場も、また、なくなってしまうということです。神様はこれを回復することを願っておられます。それで私たちは、多くの組織と訓練を通して畑を作っていくです。これから、必ず、驚くべき結果が現れてくるでしょう。神様の主権は、だれも防ぐ

ことはできません。力の神様がキリストを送って、救いの道を開かれ、すべての問題を解決されました。この世に勝つ方法は、ただ聖霊に満たされることによってだけできるのです。これが1番の順位で、最高に重要なことなのです。このために一日に1回だけでも、静かな時間にひとりでメッセージを握る定刻祈りの時間を持ってください。仕事をする時、人間関係の中で、聖霊の満たしとメッセージをのがさない常時祈りの奥義を味わうことを願います。仕事を終えた後で訪れてくる渴きの前で、深い祈りを通して神様が備えておかれた祝福を見つけて味わえばよいのです。イエス様が、ただ聖霊があなたがたの上に臨めば、地の果てまで証人になると約束されました。

今日、私たちが何を植えるかが重要です。悪魔は今日も私たちに一つだけを知らないようにだまします。それがまさに福音です。イスラエルの民は、福音を悟れず、奴隷になり、福音を味わえないで、惨めな中で陥るようになりました。今、神様の契約を握れないなら、やってくる未来が惨めになります。それで、私たちは神様のみことばを聞く時ごとに、福音を握らなければなりません。神様の子どもというアイデンティティーの中で、大きな恵みと祝福を見つけ出さなければなりません。肉的なもののために、霊的なことをのがしてはいけません。今日も神様が私たちのために大きい祝福を備えておられました。私たちがたとえ弱くても、苦しみがくるように見えても、あわれみ深い神様を見上げ、今、その方の前に出ていきましょう。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

12日(月)みことばの成就(イザヤ40:8)

神様のみことばは、今でも成就しています。神様と私との祈りのリズム、客観性ある人とのリズム、自分の生活に対するリズムを持っていれば、みことばが成就していることを知るようになって、答えられるようになります。そして、私が何を実践するべきか、みことばを握って挑戦するようになります。

13日(火)世の中をリードする指導者の基本(1ペテロ3:8~12)

人間関係の基本は、先に神様と私との関係です。このとき、他の人に対する神様の計画と祝福を発見するようになります。答えの基本は、私がいるその場で答えを受けることで、成功の基本は神様と合う人生図表を持って、唯一性の答えの中で人を生かすことです。

14日(水)世が勝てない者たちの奥義(ヘブル11:38)

福音を持った人に世の中は絶対に勝つことができません。私たちは神様の絶対主権の中で備えられた者です。普段のときに、幸せな祈りの時間を作って、一番重要な時間を祈りの時間にして、キリストを体験すれば人を生かす素敵な人生になります。

15日(木)特別祈りの時間を設けましょう(使徒1:8)

神様のみことばを握って祈りに集中すれば、考えることもできない、すばらしいことが起きます。定刻祈りの時ごとに重要なみことばを握って祈って、問題の中で24時間常時に、集中しながら祈って、癒されなければならない問題の前で深い祈りの中に入って行けば、神様の力を体験することができます。

16日(金)どうすればビジョンの実際化することができるのでしょうか(創45:5)

聖書の答えを受けた人物は、家庭問題、社会問題、国家問題、教会問題、個人問題の中でビジョンを実際化して、味わい始めました。それで、私たちは大小のすべてのことと出会いを神様の計画、時代的な計画と合うビジョンを実際化することに活用しなければなりません。

17日(土)人々の誤解(使徒4:1~12)

福音一つを知らないのが、ひどい災いが個人と家庭と家系と社会に押し寄せています。福音だけがサタンの働きを砕いて、霊的問題を解決する唯一の答えで、偶像崇拜の呪いを防ぐ唯一の道で、教会と世界を生かす唯一の道です。この霊的な事実を見る目が開かなければなりません。

週間メッセージ

産業宣教: 失った祝福を探して
(使徒10:1-6)

伝道学: 祈りと読書(箴言1:7)

核心訓練: 聖霊のパペテスマ
(使徒8:14-25)

聖日1部: 奴隷に関する定め
(出21:1~11)

聖日2部: 神様のあわれみ
(ローマ11:31-36)



本の中に 道がある

どうして、世の中にこういう事があるのかと思えるような困難があるとき、それも繰り返す苦しみが迫ってくるとき、自分のためにふさわしい慰めで、人々は宗教に帰依する。それゆえ、自分が選択したり、あるいは家系代々に信奉されたその宗教に、人生をかけて献身するのは当然だろう。しかし、他の見方をすれば宗教が力を与えるよりは、かえって宗教の深さが恐れの高山のように見えるので、私が宗教を選んだのではなく、宗教が私を選択した宿命のように感じられる場合が多い。

宗教は高等宗教と下等宗教に区分されることがある。その根拠は、宗教の資料性に基いている。下等宗教は、口伝えでだけ伝えられて神秘的な経験と個人の体験を中心にしながら神と人間の媒介者だけが知っている特別な知識に依存する。そして、客観的資料である経典で構成されることができない。高等宗教は、仏教の色々な経典、儒教の経書、イスラム教のコーラン、キリスト教の聖書などの本を持った宗教をいう。それでも、現代人が高等宗教だけに従って、古代人が下等宗教に従うのではない。宗教の構成上そうだということだ。至上科学の超情報化時代である今日を生きる現代人が、むしろ、偽りが多く中身もないようなシャーマニズムと汎神論など精霊信仰に陥る場合がさらに多い。もう韓国も、宇宙に衛星を打ち上げられる国になったが、この前、外国に私たちの衛星を委託して発射する現場で、豚の頭を置いてお祓いの儀式をする習慣に従って、真っ黒な豚パーベキューを人工衛星の前に置いて科学者が敬礼する、笑うことのできない写真を見たことがある。最高の学問を積んで驚くべき技術を持った科学者といっても、未来の結末をおいて宗教に頼る恐れはどうすることもできないと見られる。

神様は、自然を通してご自身を見せておられるが、それだけで人間が救われることができる十分な道に

はならないことを人間が知ようになる。夜空の美しさと秋の紅葉のきれいな光を見ながら、宇宙の森羅万象が明らかな秩序を持っていることを通して神様を思うことはできる。しかし、それを通して人間が救われる道を見つけることはできない。

それで、特別な経過で人間に与えられた贈り物が本だ。したがって、本を通して、高等宗教が道を案内している。ところで、その多くの道の中でどんな道が救いの道なのかを知らせる案内者が必要だ。それで、案内者を分別する知恵を神様は人間に知らせられた。重さをはかってみる時は秤が、量を測定する時は計器が、長さを測る時はものさしが必要のように、人間の救いを案内する人はキリストという職分を持った人でなければならない。人間が神様を離れたので、神様に会うようにする預言者の職分がなければならず、人間が自ら罪のわなにはまったので、罪を解決してくれる祭司の職分がなければならず、人間が避けられない運命と生年月日による運勢に縛られて、サタンの奴隷になっているので、ここから解放されるようにする王の職分を持った者でなければならない。その案内者を聖書はキリストと言う。下等宗教は、理由のない恐れで人生をより一層苦しめて、高等宗教は知識で自由を与えるが、混乱を与える。ただ正確な案内者であるキリストを通して人間は恐れることがない当然の自由を祝福で味わわなければならない。あなたは最高の祝福を堂々と味わわなければならない大切な人であるからだ。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください